原著，総説，資料，実践報告の日本語表題

―日本語副題（副題がない場合は行をつめる）―1)2)

著者名（伏字）\*・著者名（伏字）\*\*・著者名（伏字）\*\*\*

原著，総説，資料，実践報告の英語表題: 英語副題（副題がない場合はつめる）

著者名（伏字）\*・著者名（伏字）\*\*・著者名（伏字）\*\*\*

　Abstract

**key words:** 3～5 words

**中央大見出し**

**横大見出し**

　本文（著者を特定できる記載は伏字とする。）

**中央大見出し**

**横大見出し**

横小見出し　本文（横小見出しと空白1文字を置いて記述を始める。）

1)　研究助成元の紹介，研究協力者に対する謝辞など。脚注記号は上付文字で挿入し，番号を対応させる。脚注を付けない場合は行をつめる。

2)　脚注内の行数に応じて，本枠を広げたり狭めたりして調整する。空白行がないようにする。

 \*　所属機関名（伏字）

所属機関名（英語表記：伏字）, 住所（英語表記：伏字）

 \*\*　所属機関名（伏字）

所属機関名（英語表記：伏字）, 住所（英語表記：伏字）

\*\*\*　所属機関名（伏字）

所属機関名（英語表記：伏字）, 住所（英語表記：伏字）

　1ページは1,978文字（1行23文字で43行，2段組）。

　査読はダブルブラインドを採用しています。

本文には，著者が特定できる氏名や所属は書かないでください。

　指定のページ数は，タイトル，著者名，英文アブストラクト，本文，注釈等をすべて含めての刷り上がりのページ数になりますので，ご注意ください。

Table 1

できるだけ表の縦線は使用しないようにする。

表中のフォントの大きさは9ポイントとする。

基本，段組み1段で挿入する。

注）

Table 2

できるだけ表の縦線は使用しないようにする。表中のフォントの大きさは9ポイントとする。

注）

注）

Figure 1

図中の文字が小さくなりすぎたり，大きくなりすぎたりしないように調整する

基本，段組み1段で挿入する。

　図表は，見やすいサイズにして，本文内に貼り付けるようにしてください。　本文内の図表とは別に，図表のファイルもアップロードしてください。

**引 用 文 献**

記載方法は日本心理学会の「執筆・投稿の手びき」の最新版に従う。

（受稿：9999.9.9；受理：9999.9.9）